

「横浜市はIR経緯検証を」

市民団体が市長に要請へ

一般社団法人勤草塾（代表理事＝斎藤勤・元官房副長官）など3団体でつくる「カジノを考える市民フォーラム」は9日、8月の横浜市長選を受けた報告集会を開いた。カジノを含む統合型リゾート（IR）誘致に反対して立候補し、当選後に誘致撤回を宣言した山中竹春市長に対し、「市民を置き去りにしたカジノ誘致」がなせ行われた

か、市として検証するよう近く要請することを確認した。集会では、立憲民主党推薦の山中氏が、自民、公明両党の大半が支援した小此木八郎・元国家公安委員長らを大差で破った市長選の結果を分析。鳥畑与一・静岡大教授が「カジノ構想の終焉」と題して講演した。横浜港ハーバーリゾート協会の藤木幸夫会長も来賓と

誘致の経緯、検証を

市民フォーラムが集会

IR考

カジノを含む統合型リゾート施設（IR）の誘致を撤回した横浜市の山中竹春市長は9日の定例会見で、IR誘致に至った経緯を本年度内に報告書にまとめて

誘致の火種は完全に消えていない」とみて、誘致をめぐる検証や山下ふ頭再開発の見守りなどの取り組みを継続することを確認した。

一方、山中市長はこの日の定例会見で、誘致をめぐる検証について「今後の横浜市の施策に反映できる」と、反省すべきことについて振り返りを行っている」と述べ、年度内に報告書の形式でまとめ、一般公開する考えを示した。（武井宏之）



報告集会であいさつする藤木幸夫・横浜港ハーバーリゾート協会会長（横浜市中区）

して冒頭にあいさつした。

同フォーラムは2019年、林文字子前市長が市民に反対が根強いなか、IR誘致を表明したのを受けて発足。IRを推進した自民、公明両党が現在も市議会の過半数を占めるなど「カジノ

公開する方針を示した。IRを巡っては、市民団体から、誘致に至る経緯を第三者委員会で検証するよう求める声が上がっている。

会見で山中氏は、報告書の作成について「内部の方々（IR誘致に関わった職員）に聞き取りを」と説明。さらに、「外部の目が必要などところは必要に応じてやる」と述べた。

IR誘致を巡っては、反対運動を展開してきた市民



「カジノを考える市民フォーラム」報告集会
横浜市長選を終えて「カジノの終焉」
主催：カジノを考える市民フォーラム 後援：長岡かなむら

市に経緯の検証などを求める考えを確認したカジノを考える市民フォーラムの集会（9日、横浜市中区）

フォーラム」がIR誘致に至った経緯の検証を市に求める考えで、同日開かれた集会では、2年にわたる活動を振り返るとともに、第三者委員会を立ち上げるなどして検証するよう市に求める方針を確認した。

フォーラムは一般社団法人「勤草塾」（斎藤勤代表理事）など3団体で構成しており、集会では共同代表を務める斎藤氏が「カジノ誘致の火種は完全に消えていない」として、市に求めるだけでなく独自に検証する考えを表明。山下ふ頭再開発の方向性を見守るためにも活動を続けるとした。

また、横浜港ハーバーリゾート協会の藤木幸夫会長が「（IR誘致撤回につながる市長の誕生は）皆さんのおかげ。私がここで土下座をしなければならぬくらい感激」と述べたほか、「カジノ構想の終焉」と題して講演した静岡大の鳥畑与一教授は「地域社会の持続的な成長にカジノに頼る選択はあり得ない。長期的にみれば市民は非常に正しい判断をした」と分析した。（三木崇、佐藤百合）